

令和 6 年 10 月 8 日

意見発表

◆谷口かずふみ委員

公明党県議員団として意見発表を行います。

簡潔に 3 点申し上げたいと思います。

まず、馬毛島の自衛隊施設について申し上げます。

今回の報告によれば、この自衛隊施設は、令和 5 年 1 月時点では令和 9 年初めごろの完成が想定されていました。しかし、今年 9 月 10 日になって、令和 12 年 3 月末の完成見込みとなり、3 年強の工期延長となることが明らかになりました。馬毛島の自衛隊施設は、空母艦載機着陸訓練のための施設として使用予定であると承知しており、私の地元大和市、また、綾瀬市に所在する厚木基地にも関係する問題であります。厚木基地の騒音問題は、地元にとって切実な問題であり、県には今後とも他県の動向も含め、厚木基地の騒音に関わることについて情報収集していただき、状況に応じて必要な働きかけを国に行うよう要望いたします。

次に、県職員向けカスタマーハラスメントについて申し上げます。

今回カスハラ対応のマニュアル策定などを行い、職員の皆さんを守るための対策が講じられるということですが、マニュアルの策定は大変重要なことですが、あわせて、それぞれの部局等で、これまでの経験や知見に豊富な方がアドバイスをしたり、または相談を受けたりする、そうした仕組みも構築するよう求めています。

最後に、災害時におけるデータ統合連携基盤の活用について申し上げます。

このデータ統合連携基盤の導入、そして被災者データベースの構築、さらには A I 機能の導入など、デジタル技術をフル活用して、防災 D X に取り組もうとしていることについては評価いたしますが、実際に被災者の皆さんへの支援がより一層充実し、また迅速化し、一方、職員の皆さんの作業も負担が減り、効率化される、こうした結果をしっかりと出していただくよう求めています。

以上、意見、要望を申し上げましたが、当常任委員会に付託された諸議案に賛成し、意見発表を終わります。